

第5回佐久市総合計画審議会 議事録（要旨）

日 時：平成23年6月1日

13:30～15:00

場 所：佐久消防署 講堂

- 1 開 会
- 2 自己紹介
- 3 議 事

(1) 第一次佐久市総合計画後期計画の骨格（案）について

事務局より資料説明（資料1）

質疑、意見

|       |  |
|-------|--|
| (委員)  | ユビキタス社会とは。   |
| (事務局) | コンピューターや情報端末を結びつけて、その中で自由にネットワークを構築させながら、それを活用していくというイメージと、それを使っていこうとする社会です。   |
| (委員)  | クラウドコンピューティングとは。   |
| (事務局) | インターネット上にデータとかを蓄積するサーバーがあって、そこにデータをため込んで、必要があればそこからデータを出し入れして情報を共有したり、逆にそこから情報発信をすることです。   |
| (委員)  | 今説明を聞いたが、この内容の深さに対して、今日の会議の中で、この骨格案について意見を出してください、それで良ければ、通っていってしまう。それほど軽いものじゃないことに対して、どうやったらこの内容を深められるか。今の説明をされた時に、内部では、多分かなりの検討や分析をされていると思うし、その結果として骨格案が出てきていると思う。ここで意見がなければ通過してしまうことに対して、すごく違和感があるのですが。 |
| (事務局) | もっともなご意見だと思います。これをすべてご理解いただくのは、なかなかこの時間だと難しいと思います。従いましてこの後ご提案をしますが、部会を設けさせていただきますので、具体的な事項については、部会で掘り下げて、ご審議をいただければと思います。  |
| (委員)  | もう少し具体的な、例えば市としては、人口減少の対応として、市町村合併の考えがあるかどうか。また小中学校や保育園の再編とい   |

|              |  |
|--------------|--|
| <p>(事務局)</p> | <p>うこともある。そのようなことも含め、やはり部会での審議ということでしょうか。</p> <p>合併につきましては、6年経過をいたしました。再度の合併は全く考えておりません。国の政策もありませんので、現状でということになるかと思えます。学校、保育園につきましては、当然やっていかなければいけない問題だと思えますが、今回は骨格ということで、骨組みだけです。実際の具体的な施策につきましては、部会で個別にご審議いただきたいと考えています。</p> |
| <p>(会長)</p>  | <p>確かにこれで議論を終わらせてしまうのは勿体ないので、またご覧いただいて、疑問な点、質問等あれば、次回に時間を取らせていただきたい。</p> <p>先程から市から説明があるように、今後は部会の中でどこまで皆様のご要望が受けられるか、ということになるかと思えます。</p>  |

(2) 国土利用計画（佐久市計画）の改訂について

事務局より資料説明（資料2-1、2-2）

質疑、意見

|              |  |
|--------------|--|
| <p>(委員)</p>  | <p>資料の内容、国・県からの課題は、震災前のものではないか。それから震災があって、状況というか環境が非常に大きく変化して、そこでやるべきこと、できることを選択肢が劇的に広がっているような気がしている。例えば、電力が足りない現状で、この先原子力発電をやめていったら、もっと足りなくなるという時に、中部電力管内の長野県は涼しくて、佐久市は新幹線も通っているため、そういう需要が考えられる。これに対応した事業を積極的に行うと、伸びそうな気がするとか、それが盛り込まれていると、もっと楽に成長戦略ができるのではないか。詳しくはわからないが、山荘あらふねの近くに、少し販売が難しい別荘地のようなものがあって、それは勿体ないと思うが、個人がこれから別荘地を買うかという、結構厳しい気がする。例えば中規模の建物を建てて、会社がオフィスを建築できるような規制緩和をすることによって、高原地帯の少し企画倒れになった別荘地に、急に潤いが生まれるのではないか。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>ご指摘の通りで、この推計につきましては、全くその震災の影響は反映されていません。震災によりまして、被災された皆さんには申</p>  |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>し訳ないが、逆にこういった佐久市の安全性などをアピールして、佐久市の振興に役立てるという考え方も、当然出てくると思います。中部電力も原子力発電の関係もありまして、電力の方が当初想定しましたよりは少し厳しいようですが、当然、プラスの影響もあると思うので、計画の中には織り込む必要も出てくると思います。具体的な案はまだありません。</p>  |
| (委員)  | <p>この国土利用計画と、先程ご説明いただいた総合計画、これとどうリンクして、どう作業を進めていくのか。</p>  |
| (事務局) | <p>時代背景や地域背景は両方とも同じ認識になります。資料1の2ページの4、佐久市の主要課題で、大きな課題を6点あげていますが、その中の課題2、「地域の調和のとれた発展を促し適切な都市構造を導くこと」、それと課題3、「土地需要の調整と土地利用の転換の適正を図ること」と、資料2の1の1ページにあります、IIの改訂の課題、「土地需要の調整と土地利用の転換の適正化」、その下の「地域の現状と社会状況に関する土地利用の再構築」の基本的な考え方を同じにする中で、国土利用計画として大きな利用の方向を定め、総合計画で具体的な施策展開を図っていく、という形でリンクしたいと考えています。</p> |
| (委員)  | <p>公共交通審議会との関係。例えば今、車（特に自家用車）に依存しすぎている。将来的には人口減少という大きな課題がある。いろいろな問題がある中で、すごく短い期間に作成しようとされているが整合できるか。</p>  |
| (事務局) | <p>総合計画と、国土利用計画が、佐久市の最上位の計画です。その中にも交通、道路網を含めた交通という施策を取り込んでいく。これを受けながら、地域公共交通の、国では公共交通ネットワーク計画という言い方をしていますが、それを並行して作っていきたいと考えています。作成期間については大変厳しいと重々承知していますが、それぞれの計画を順次作っていくと、相当時間がかかってしまうので、総合計画と土地利用計画についてはセットで考えていますが、それを睨みながら、公共交通計画も同時に作って、来年度から動かしていきたいと考えています。</p>                             |

### (3) 部会の設置について

事務局より資料説明（資料3）

- 特に意見なし
- 各部会委員による互選により、各部会長・副部会長を選任  
 総務文教部会：白井汪芳部会長、鈴木寛一副部会長  
 経済建設部会：臼田行孝部会長、宇羽野武振副部会長  
 社会部会：中村通部会長、内藤俊一副部会長

(4) その他

事務局より説明（今後の日程等）

|       |  |
|-------|--|
| (委員)  | なかなか教育には目が届かない。後期の基本計画の推進テーマ、計画のスローガンとして、教育に目を向けた共通イメージを検討したい。 |
| (事務局) | ご意見として承ります。  |

4 閉 会